

# 神戈陵を渡る風3

令和5年度 川辺高校 校長通信 第110号(通算)

令和5年7月7日(金)発行

7月になり、今日は七夕です。棚機(たなばた)とは古い日本の禊ぎ(みそぎ)行事で、乙女が着物を織って棚にそなえ、神さまを迎えて秋の豊作を祈り人々のけがれをはらうというものでした。選ばれた乙女は「棚機女(たなばため)」と呼ばれ、川などの清い水辺にある機屋(はたや)にこもって神さまのために心をこめて着物を織ります。そのときに使われたのが「棚機」(たなばた)という織り機です。やがて仏教が伝わると、この行事はお盆を迎える準備として7月7日の夜に行われるようになりました。現在七夕という二文字で「たなばた」と当て字で読んでいるのも、ここから来ていると言われています。



6月に泰山木(タイサンボク)が大きな花を咲かせ、周囲に甘い香りを漂わせています。

## 織り姫と彦星の伝説



琴座のベガと呼ばれる織女(しゅくじょ)星は裁縫の仕事、鷲(わし)座のアルタイルと呼ばれる牽牛(けんぎゅう)星は農業の仕事をつかさどる星と考えられていました。

この二つの星は旧暦7月7日に天の川をはさんで最も光り輝いているように見えることから、中国では、この日を一年一度のめぐりあいの日と考え、七夕ストーリーが生まれました。小学生向けの百科事典「21世紀子ども百科(小学館)」で調べてみると、『七夕は、昔、中国から日本に伝わった星祭りです。

ひこ星と、織りひめという男女の星が、天の川をはさんで向かい合っていて、この2つの星が、1年に1度、7月7日にだけ会えるという言い伝えから、祭りが始まりました。』とあります。七夕は、中国と日本のミックスカルチャーだと考えられます。



ハイレベルの九州の猛者の勢いを感じました。



## なぎなた九州大会

令和5年6月17~18日(土・日)

九州大会が県総合スポーツセンター体育館で開催されました



インターハイに向けての課題を得ました。でも、演技競技で九州3位となりました。



# 川辺中出前実験

令和5年6月29日(木)

今年も、サイエンス部が出前理科実験を川辺中の2年生を対象として開催してきました。



ドキドキしながら部員が先生として、中学生に実験内容を解説しています。わかりやすく、上手に説明できたでしょうか？ 中学生もですが、高校生にとっても、貴重な体験になったと思います。



# 家庭クラブの取組

令和5年6月29日(木)

【型抜き2色クッキーを製作】



事前学習もしっかり。とても美味しいクッキーが焼けました。

# 川辺の近景

6月下旬 田植えを終えたばかりの朝の風景



昨年の8月下旬 稲は成長し、収穫間近

